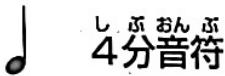


③ 音符と休符

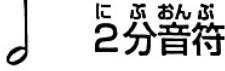
1. 音符(1)

音の長さは音符の形によって表します。全音符の長さを1として、2分の1に分割すると2分音符、4分の1にすると4分音符、8分の1にすると8分音符……となります。しかし、実際には4分音符を1拍と数えて演奏することが多いので、ここでも4分音符を基準にして考えましょう。



4分音符

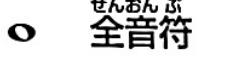
1拍



2分音符

2拍

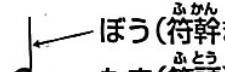
4分音符2つ分の長さ



全音符

4拍

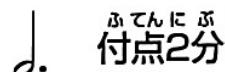
4分音符4つ分の長さ



ぼう(符幹または符尾)
たま(符頭)

付点音符

音符のたまの右横についた小さな点を付点といいます。付点は「その音符の半分の長さを足す」という印です。たとえば、2分音符に付点がついたら、2分音符の半分、つまり4分音符の長さを加えて弾くことになります。音符のたまが線の上にあるときは、ふつう点はすぐ右上の間につけます。



付点2分音符

3拍 2分音符+4分音符



ここに注意！

点が音符の真上や真下についている場合は、付点ではなくスタッカートといいます(p. 32参照)。

ぼうの書き方

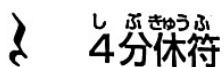
ぼうは通常1オクターブの長さぶん伸ばします。基本的にたまが五線の中央の線(第3線)より下にあるときは、たまの右側から上向きに、第3線やそれより上にあるときは、たまの左側から下向きにつけます。

ただし、高い音や低い音(加線の多い音)は、すべて第3線までぼうをのばします。



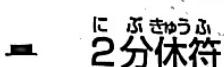
2. 休符(1)

休符は休みを表し、この印のところは音を出しません。



4分休符

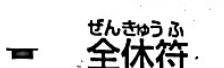
1拍



2分休符

2拍

4分休符2つ分の長さ



全休符

1小節全部



全休符は1小節全部休みという意味です。たとえば、4分の4拍子のときは4拍分、4分の3拍子のときは3拍分休みになります(小節、拍子についてはp. 22参照)。

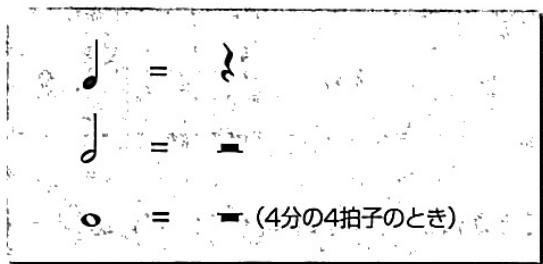
ここに注意！

2分休符と全休符は似ているので気をつけましょう。

2分休符は第3線の上に、全休符は第4線の下についています。



◆音符と休符の長さ



練習問題 8

① 次の()に適切な音符を1つ書きましょう。

$$1) \text{♩} + \text{♩} = (\quad) \quad 2) \text{♩} + \text{♩} = (\quad)$$

$$3) \text{♩} + \text{♩} = (\quad) \quad 4) \text{♩} - \text{♩} = (\quad)$$

$$5) \text{♩} + \text{♩} + (\quad) = \text{♩.} \quad 6) \text{♩.} + \text{♩} = (\quad)$$

② 4分の4拍子のとき、次の()に適切な休符を1つ書きましょう。

$$1) \text{♪} + \text{♪} = (\quad) \quad 2) \text{—} + \text{—} = (\quad)$$

$$3) \text{—} - \text{♪} = (\quad) \quad 4) \text{—} - \text{—} = (\quad)$$

3. 音符(2)



はちぶ おんぶ
8分音符

$\frac{1}{2}$ 拍 4分音符の $\frac{1}{2}$ の長さ



じゅうぶくぶ おんぶ
16分音符

$\frac{1}{4}$ 拍 4分音符の $\frac{1}{4}$ の長さ

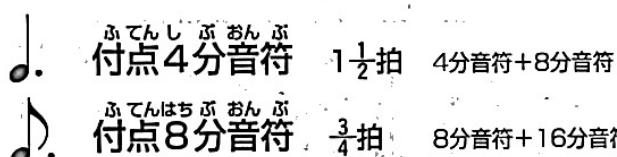


さんじゅうにぶ おんぶ
32分音符

$\frac{1}{8}$ 拍 4分音符の $\frac{1}{8}$ の長さ



3分音符や16分音符などが2つ以上続く場合、通常、次のように書きます。



付点8分音符と16分音符が並んでいるときは、通常、次のようにつなげて書きます。



練習問題 9

次の()に適切な音符を書きましょう。

$$1) \text{♪} + () = \text{♪}$$

$$2) \text{♩} + \text{♪} = ()$$

$$3) \text{♪} + \text{♪} + \text{♪} + \text{♪} = ()$$

$$4) \text{♩} + () = \text{♩}$$

$$5) \text{♪} + \text{♪} + \text{♪} + \text{♪} = ()$$

$$6) \text{♩} + () = \text{♩}$$

$$7) \text{♩} + \text{♪} = ()$$

$$8) \text{♩} + \text{♩} = ()$$

$$9) \text{♩} + \text{♪} = ()$$

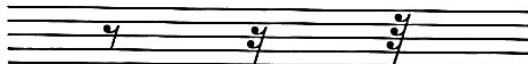
$$10) \text{♩} - \text{♩} = ()$$

4. 休符(2)

| | | | |
|-------|-----------------|-------------------------|------------------------|
| 8分休符 | $\frac{1}{2}$ 拍 | 4分休符の $\frac{1}{2}$ の長さ | + = |
| 16分休符 | $\frac{1}{4}$ 拍 | 4分休符の $\frac{1}{4}$ の長さ | + + + = |
| 32分休符 | $\frac{1}{8}$ 拍 | 4分休符の $\frac{1}{8}$ の長さ | + + + + + + + = |

| | | | |
|--------|------------------|------------|---|
| 付点2分休符 | 3拍 | 2分休符+4分休符 | = |
| 付点4分休符 | $1\frac{1}{2}$ 拍 | 4分休符+8分休符 | = |
| 付点8分休符 | $\frac{3}{4}$ 拍 | 8分休符+16分休符 | = |

付点休符は曲の中ではあまり使われず、右側のように分けて書く場合が多い。



8分休符 16分休符 32分休符



付点2分休符 付点4分休符 付点8分休符

◆音符と休符の長さ

| | | |
|--|---|--|
| | = | |
| | = | |
| | = | |

練習問題 10

次の()に適切な休符を書きましょう。

1) + () =

2) + () =

3) + () =

4) + + + = ()

5) + () =

6) = + ()

5. 音符(3)

複付点音符

音符に付点が2ついたものを複付点音符といいます。1つめの付点は「その音符の半分の長さを足す」という印、2つめの付点は「さらにその半分の長さを足す」という印です。たとえば、複付点4分音符は「4分音符と8分音符と16分音符を足した長さ」になります。分数で表すと、 $1 + \frac{1}{2} + \frac{1}{4} = 1\frac{3}{4}$ となります。

ふくふてんし ぶ おんぶ 複付点4分音符

4分音符の半分を足す
=8分音符

8分音符の半分を足す
=16分音符

$$\text{↓..} = \text{↓} + \text{♪} + \text{♩}$$

ふくふてんに ぶ おんぶ 複付点2分音符

2分音符の半分を足す
=4分音符

4分音符の半分を足す
=8分音符

$$\text{↓..} = \text{↓} + \text{♪} + \text{♩}$$

3連符

1つの音符の長さを3等分したものを3連符といいます。通常、3連符は音符のそばに3という数字が書かれます。しかし、3連符が続くときには、省略されることもあります。



2分音符を3等分 $\overbrace{\text{♪} \text{♪} \text{♪}}^3 = \text{↓}$

4分音符を3等分 $\overbrace{\text{♪} \text{♪} \text{♪}}^3 = \text{♪}$

8分音符を3等分 $\overbrace{\text{♩} \text{♩} \text{♩}}^3 = \text{♩}$

練習問題 11

次の()に適切な音符を1つ書きましょう。

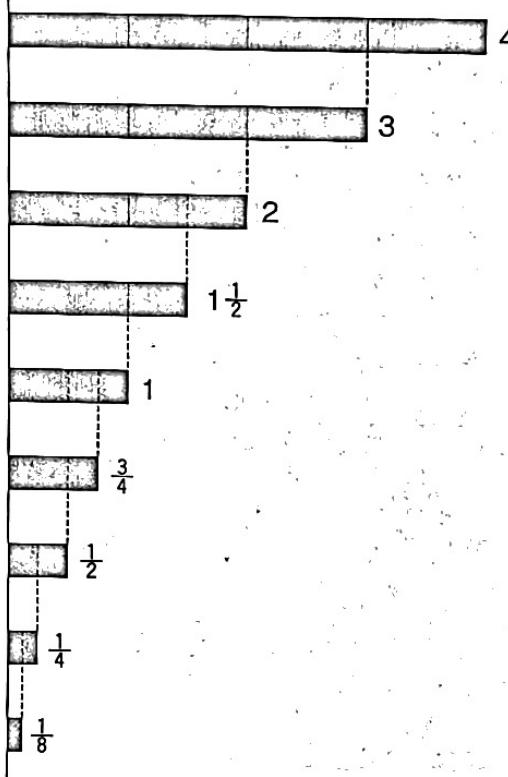
$$1) \text{↓} + \text{♪} = () \quad 2) \text{↓} + \text{♪} = ()$$

$$3) \text{↓} + \text{♪} + \text{♩} = () \quad 4) \text{↓} + \text{♪} + () = \text{↓..}$$

$$5) \overbrace{\text{♪} \text{♪} \text{♪}}^3 + \overbrace{\text{♩} \text{♩} \text{♩}}^3 = () \quad 6) \overbrace{\text{♩} \text{♩} \text{♩}}^3 + \overbrace{\text{♪} \text{♪} \text{♪}}^3 = ()$$

6. 音符と休符の長さ(まとめ)

○ 全音符



— 全休符 (4分の4拍子のとき)

♪ 付点2分音符

— 付点2分休符

♩ 2分音符

— 2分休符

♪ 付点4分音符

— 付点4分休符

♪ 4分音符

— 4分休符

♪ 付点8分音符

— 付点8分休符

♩ 8分音符

— 8分休符

♪ 16分音符

— 16分休符

♪ 32分音符

— 32分休符

(練習問題 12)

① 次の音符の長い順に番号をつけましょう。

- | | | | | | | | |
|----------|-------|-------|---------|----------|-------|-------|---------|
| 1) ♩ () | ♩ () | ♩ () | ♩.. () | 2) ♩ () | ♩ () | ○ () | ♩.. () |
| 3) ♪ () | ♪ () | ♪ () | ♪ () | 4) ♩ () | ♩ () | ♪ () | ♩ () |

② 次の休符の長い順に番号をつけましょう。

- | | | | | | | | |
|----------|-------|-------|-------|----------|-------|-------|-------|
| 1) — () | — () | — () | — () | 2) ♫ () | ♫ () | — () | ♩ () |
| 3) ♭ () | ♩ () | ♩ () | ♩ () | 4) ♫ () | ♫ () | — () | — () |

③ 次の休符と同じ長さの音符を書きましょう。

- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 1) ♫ () | 2) ♭ () | 3) — () | 4) ♫ () |
|----------|----------|----------|----------|